

IGF2019 参加報告

JPNIC フェローシップ 上田 格



目次

- ✓ 参加の動機
- ✓ 参加したセッション
- ✓ 印象に残ったセッション
- ✓ 全体を通して
- ✓ 今回の経験を今後どう生かしていきたいか
- ✓ 参加支援プログラムに対する所感

参加の動機

IGFで世界のインターネットガバナンスに関する議論のポイントや流れを捉え
サイバー空間が安全で信頼できるものになるよう貢献したい

サイバー空間の安全性・信頼性を確保するためには
それを使う”人”や”政策”に関する議論が必要なのではないか

技術的な議論だけでは
サイバー空間は安全にならないのでは？



Photo by [Markus Spiske](#) on [Unsplash](#)



Photo by [Antenna](#) on [Unsplash](#)

参加したセッション



Day0 (11/25(月))

Youth IGF Summit
Strengthening the multi-stakeholder approach on international norms in cyberspace
Parliamentary perspective and opportunities for action
IGF crash-course on emerging technologies

Day1 (11/26(火))

IGF for Beginners Main Session
NRIs Collaborative Session on Cybersecurity: Discussing the National and Regional experiences in approaches and cooperation for cyber-security and cyber-safety and resilience for infrastructure providers and users
Tech Nationalism: 5G, Cybersecurity and Trade
Opening Ceremony

参加したセッション

Day2 (11/27(水))

Cybersecurity concerns everyone – Responsibility and education throughout the digital supply chain

Roadmap for Confidence Building Measures(CBM) in Cyberspace

Global Commission on the Stability of Cyberspace(GCSC)

BPF Cybersecurity: Putting agreements into action - operationalising cybersecurity norms

Day3 (11/28(木))

Trust, Norms and Freedom in Cyberspace

Usual Suspects: Questioning the cybernorm-making

Issues on the Free Flow of Data, ICT Products and Services in a Digitally Connected World

Day4 (11/29(金))

Information Sharing 2.0: Privacy and Cybersecurity

Security/Safety Concluding Session

Closing Ceremony

印象に残ったセッション

◆ Parliamentary perspective and opportunities for action

地位や出身母体に関係なく有名な政治家が参加者に気さくに話してくれた

エストニアの元外務大臣・GCSCのformer chairのMarina Kaljurand氏が
ワークショップの中でどんな質問にも答えてくれていただけでなく、
惜しみなく知識や経験を共有してくれた

EUにおけるHack back(サイバー攻撃に対するサイバー攻撃による反撃)の議論

北大西洋条約と国連憲章が思考の根底にあり、
EUを一つの国のように考え、サイバー攻撃に対抗していくという
意思が強いように感じた

EUのサプライチェーン・リスクに関する議論

EUでもサプライチェーン・リスクに関する議論が盛んに行われている印象
EU圏の国すべてが国の重要システムを国産化できるわけではないため、
サプライチェーン・リスクマネジメントはより難しくなると認識しているようであった

印象に残ったセッション

◆ NRIs Collaborative Session on Cybersecurity: Discussing the National and Regional experiences in approaches and cooperation for cyber-security and cyber-safety and resilience for infrastructure providers and users

脆弱性情報の共有やサイバー規範の強化

技術的な脆弱性情報を共有するコミュニティは情報を持つ軍や情報機関と連携を図るべき
また、サイバー空間の規範の強化・実行および助言をもらうために
規範作成プロセスにも軍や情報機関に参画してもらうことが必要とのことであった

規範の実装

サイバー規範の実装（実行）はマルチラテラルな形ではなく、
マルチステークホルダーで全員が取り組む必要があり、
テクノロジーコミュニティはその最初の一步を踏み出すべきとのことであった

CERT(Computer Emergency Response Team)コミュニティの効果

とある国にいるハッカーから攻撃を受けた際、
FIRSTのようなCERTコミュニティでその国のカウンターパートと情報を共有し、
調査を依頼することは実際に効果があったとのことであった

印象に残ったセッション

◆ Cybersecurity concerns everyone – Responsibility and education throughout the digital supply chain

”Charter of Trust”と他のセキュリティ施策・サイバー規範との違い

事務局がきちんと気を配ることができる数の加盟企業数としている

着実に成果を出して、『Charter of Trust』が課している要件を確実に満たしているか否かに関心があり
サイバー規範のように加盟（署名）企業数・政府数を多くしたいという意思はあまり感じなかった

全体を通して

- インターネットガバナンスに関して、世界ではどのようなことが話されているのか知ることができた
- 黙って話を聞いているより、下手な英語でも自分からメッセージを発する方が喜ばれた
- 概念的な話は英語が難しい . . .

今回の経験を今後どう生かしていきたいか



Photo by [Evangeline Shaw](#) on [Unsplash](#)

IGF2019がきっかけで、別なワークショップにお誘いいただくこともあったこの繋がりを大事にして、コミュニティにも貢献したい



Photo by [Green Chameleon](#) on [Unsplash](#)

今回得た知見を土台に、国内外のインターネットガバナンスに関する議論を引き続き注意深くウォッチし、技術だけでなく制度や政策に関する知識の理解をさらに深めたい

参加支援プログラムに対する所感

- IGFで世界的な議論を聞いたことはもちろん、単純に旅費を提供頂いただけでなく、長くIGFに関わっていらっしゃる方やインターネットガバナンスの専門家の方々の見解を聞く機会や質問させていただく機会をいただき、非常に有意義でした

ありがとうございました！

